



とくべつ市民交流ひろば

お便り募集中!!

「とくべつ市民交流ひろば」では、綾部市にまつわることや、ふるさと製品に関することなどを紙面で取り上げます。たくさんのお便りやメールをお待ちしております。

会員さまからのお便り

昭和37年生まれの綾部市およぎちゆう於与岐町出身者です。

4月号に載っていた中丹バスの写真を見て、幼稚園から小学3年生までバスで通っていたことを思い出しました。幼稚園の時にはバスの車掌さんが乗っておられて、切符をハサミでガチャンと切ってもらうのがうれしくて「大きくなったらバスの車掌になる」と思っていました。あの時の車掌さんは今どうしておられるのでしょうか？また、通園バスの写真があったら見たいです。

事務局より

通園バスの写真は見つけれなかったのですが、昭和40年頃の東八田小学校の写真がありました。もしかしたら写真（右端）に写っているバスが通園バスではないでしょうか…

車掌さんについては、ご存じの方がおられず見つけることができませんでした。



綾部の今昔「フォトライブラリー」

昭和40年代の綾部市内の写真と現在を比べてみました。



昔：西町アーケード



昔：本町通り



昔：紫水ヶ丘からの風景



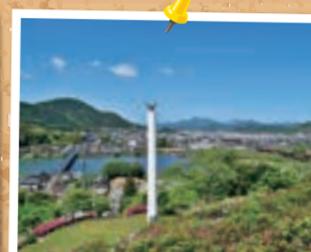
昔：綾部駅周辺



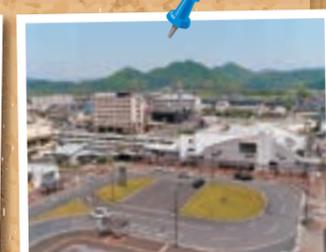
今：西町アーケード



今：本町通り



今：紫水ヶ丘からの風景



今：綾部駅周辺

掲載した写真の他にも、昔の写真をホームページに載せていますのでご覧ください！
あやべ特別市民HP <https://www.ayabefan.com>

NewsLetter

2021
7月

あやべ特別市民 ニュースレター



綾部ふれあい牧場

暑中お見舞い申し上げます。

陽射しが一段とまぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活も様変わりをし、徐々に新しい生活様式が定着してきました。

残念ながら今年も、綾部市を代表する夏のイベント「あやべ水無月まつり」が中止になってしまいました。来年こそは、花火や万灯流し、よさこいなどを楽しめる日常になることを願っています。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、お体に十分留意され、お元気で過ごしてください。

事務局一同



紹介者キャンペーン

- 皆様のお知り合いに「あやべ特別市民制度」をご紹介ください。
- 紹介いただいた方が令和3年8月31日までにご入会されると、入会成立特典として、ご紹介者であるあなた様に謝礼品をお送りします。

※お手数ですが、ご本人同意のうえ、同封の会員紹介はがきにてご紹介ください。
※謝礼品は追ってお送りいたします。



謝礼品は、白花生・紫花生の甘納豆
(丹波黒総本舗 中村屋)



次回ふるさと製品の発送予定日

※都合により1～2日前後する場合があります。

9月22日～順次

第1回ふるさと製品 綾部産新米5kg をお送りします。

(7月にお送りする産品を選ばれた方以外への発送となります。)



綾部市秘書広報課

〒623-8501 京都府綾部市若竹町8-1 Tel:0773-42-4204(直通) Fax:0773-42-4905
e-mail : tokubetusimin@city.ayabe.lg.jp



あやべ特別市民 HP
<https://www.ayabefan.com/>

【素材にこだわった素朴なお菓子】



バターや卵を使わないむしばんや焼き菓子、地元で採れた季節の食材や自家製の小豆を使った大福など素材にこだわったお菓子を製造販売する「自然素材オリジン」の柏原安子さん。以前は、輸入菓子の商社に勤められたわらフランス菓子の教室に通い、夢はタルトの専門店を開くことでした。しかし結婚、出産し子どもにアレルギーが見つかったことで食の大切さを実感し、それまでの衣食住の全てを見直すきっかけになりました。子どものおやつにと米粉や豆乳を使って「むしばん」を作ったところ、シンプルなのに素朴な美味しさ。この「むしばん」がオリジンの原点となっています。移住する前に暮らしていた大阪では定期的に「むしばん屋」としてイベントに出店していました。田舎暮らしをしたいと考えていた頃、綾部市出身のイベント主催者との縁で初めて綾部市を訪れ、家族みんなが気に入ったことで2013年に綾部市奥上林地区に移住することになります。田舎での暮らしは、畑仕事や季節ごとに収穫する作物の仕込みなどに忙しく「全然のんびりする暇がないんです」と話す顔はとても楽しそう。地域の人との関りも深く、子育てするにはとても良い環境だと語ります。

たくさんの人に田舎暮らしを体験してもらいたいと、2018年には念願だった農家民宿も始めました。民宿では、農業や和菓子作りを体験することができます。

「自然素材オリジン」のお菓子はインターネットでも注文できます。詳しくはホームページをご覧ください。

オリジンのむしばん



季節の大福。旬の食材を使って作ります。

左から抹茶あずき、古代米甘酒、玄米甘酒

左からオーガニックチョコ、さつまいも、よもぎ

米ぬかポーロのギフトセット



「中丹いちおし」商品に選ばれました!

店主 柏原安子さん(写真右)と母 古谷周子さん(写真左)

自然素材
オリジン

〒623-1131 京都府綾部市睦寄町鼠塚8番地
電話 080-9128-0888 (柏原)

<https://steamedbread.amebaownd.com/>
E-mail: steamedbread2008@gmail.com

御城印めぐり

寺社仏閣を参拝した証にいただける「御朱印」ならぬ「御城印」をご存じですか。お城や城跡の登城記念として販売されているもので、その名称や城主の家紋などがデザインされています。御朱印とは異なり、印刷された「書き置き」がほとんどです。

昨今のお城ブームに合わせ、様々な御城印が登場し、収集する人もじわじわと増えています。

綾部市でも昨年7月に販売を開始した「山家城址」をはじめ「上林城址」「小畑城址」の3つの御城印があります。

城跡を訪ねて歴史に思いを寄せ、ご登城の記念に集めてみてはいかがでしょうか。

山家城址 (綾部市広瀬町)

明智光秀による丹波攻めで落城した山家城(甲ヶ峯城)の麓にあって、江戸時代に山家藩を治めた谷氏の陣屋跡が、今は山家城址公園として残っています。春は桜、秋は紅葉など四季折々の自然が楽しめる「京都の自然200選」にも選ばれています。御城印には、かつての山門の位置に模擬復元された城門のイラストと、谷氏の家紋である「揚羽蝶」をあしらっています。



山家城址公園



上林城址 (綾部市八津合町)

上林城の城主と伝わる上林氏は、丹波氷上郡の土豪赤井氏の一族で、足利尊氏に従って功を立てた赤井秀家が何鹿郡上林庄に住み、初めて上林姓を名乗ったと言われています。この上林氏の一派が宇治で茶業を始めて茶舗上林家として有名になりました。

御城印には、二つの家紋、上林氏の「三つ柏」と後にこの地を治めた藤懸氏の「丸に三の字」、そして上林氏ゆかりの茶葉がデザインされています。



上林城本丸跡



小畑城址 (綾部市小畑町)

小畑城は戦国時代末期に築かれたと伝わる山城です。城主は多紀郡(現在の丹波篠山市)東部に興った豪族で、16世紀初頭にこの地に進出した波々伯部氏といわれています。

現在は、地元の人たちが企業や府立林業大学校と連携して、植樹や遊歩道の整備をされています。

御城印は、波々伯部氏の家紋「松喰い鶴」をあしらったデザインです。



小畑城跡 登り口



販売場所

- ◆あやべ観光案内所
綾部市駅前通東石ヶ坪11-4
電話 0773-42-9550 (綾部市観光協会)
- ◆あやせ(綾部市観光協会 通販サイト)ほか
価格 1枚300円(税込)



あやせ